

児童指導業務委託事業者選定に係る 区民公開プレゼンテーションの実施について

平成 20 年 11 月 28 日
新宿区子ども家庭部子どもサービス課

1. 事業者選定における住民参加の取り組みについて

新宿区では、児童指導業務委託の事業者を選定する際、事業者による区民公開プレゼンテーションを実施しております。区民公開プレゼンテーションとは、第一次書類審査を通過した入札参加事業者が、区民に対して公開の場で事業提案のプレゼンテーションを行い、区民がそのプレゼンテーションの内容について評価するものです。新宿区ではこのアンケート結果を集計し、入札時における評価項目の1つとし加点を行うことで、区民の評価が事業者選定に活かされる取り組みを実施しております。

2. 区民公開プレゼンテーションを実施した背景

児童指導業務(児童館事業、学童クラブ事業のうち、児童やその保護者に対し接する業務)については、これまで区常勤職員が実施しておりましたが、保護者の就業の多様化に伴い、週休日の開設や時間延長等の住民ニーズが拡大し、これに対応するためには、民間委託をした方がより効率的な行政サービスが提供できると考え、民間委託について利用者の理解を得るため、説明会等を複数回にわたり開催しましたが、利用者からは、民間委託について不安視する声が強くなり寄せられました。これを受けて、利用者自身が事業者の事業提案を直接聞く場を設けることで利用者の不安感を払拭し、さらに利用者がこの事業提案を評価することで、利用者が好ましいと考える事業者を選択する仕組みとして区民公開プレゼンテーションを実施するに至りました。

3. 児童指導業務委託の概要(平成 16 年 4 月～)

以下、「(仮称)榎町児童センター・早稲田南町こども館・西新宿こども館児童指導業務委託募集要項」より抜粋

(1) 履行場所

西新宿こども館

早稲田南町こども館及び榎町児童センター

(2) 履行内容

児童館及び学童クラブ事業において、利用する児童及び保護者が施設を利用するにあたって、児童の健全育成に係る直接的な処遇(日常的な遊びの指導・行事企画進行・生活指導等)及び報告書等の作成等

(3) 予定価格(参考額)

西新宿こども館	¥26,482,000-
早稲田南町こども館	¥26,482,000-
榎町児童センター	¥32,041,000-

(4) 契約期間

平成16年2月1日から平成16年3月31日まで(準備契約)

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで(本契約)

ただし、5年を上限に更新可能。

(5) 契約期間の更新について

本契約は事業評価の結果により5年を上限に契約の更新を認めています。更新のためには、毎年、児童館利用者及び地域住民のみで構成される「運営協議会」の評価を指標としています。「運営協議会」では、事業者との意見交換会や、利用者からのアンケート等を通して、事業者の業務内容を勘案し、翌年度以降も受託することが適当かどうか区に対して答申を提出することとしており、区はこれに基づいて契約更新の是非を判断します。本事業においては、利用者と受託事業者との長期間の信頼関係が重要であることから、長期間の円滑な行政サービスを提供するために、このような契約の更新の仕組みを設けています。

(6) 入札方法

公募型プロポーザル方式

(7) 委託による人員削減効果

区職員6名

(8) 委託によるサービス内容の拡充

時間延長

(学童クラブ児の受け入れを、午前9時から午前8時へ、午後6時から午後7時に延長。)

日曜祝日のサービス提供

(平日と同一の職員が継続して子どもたちの様子を見られる。)

4. 全体の事業者選定の流れ

【1次審査】	【公開プレゼンテーション】	【2次審査】	【事業者選定】
(200点)		(100点)	(計300点)

5. 区民公開プレゼンテーションの実施方法

区民公開プレゼンテーションは、以下の要領で、参加事業者計4社(履行場所ごとに各3事業者)、参加住民計約80名、児童指導業務委託事業者選定委員5名、区職員数人の立会いの下、区役所の会議室で実施しました。

公平性を期すため、プレゼンテーションに対する住民からの質問は控えていただき、1事業者からのプレゼンテーションは約30分で実施しました。最後に、全てのプレゼンテーションが終了した後、まとめてアンケートの記載をお願いしました。

(1) 公開プレゼンテーションのご案内の送付(別紙1)

案内文については、対象となる児童館・学童クラブ利用保護者向けに配布しました。また、公開プレゼンテーションについては、区の広報誌およびホームページに記載することで広く区民に周知しました。

(2) 事業者プレゼンテーションの資料(2例)(別紙2)

プレゼンテーションに際しては、説明する項目を絞り、その内容について事前に資料にまとめてもらい、来場者に配布しました。

(3) アンケート用紙(別紙3)

アンケートにおける項目は、採点項目と同様となっています。

(4) アンケート集計結果(別紙4)

アンケート用紙の3の問いに対する の数を集計しました。

実際に利用する可能性のある参加者の意見を尊重するため、アンケート欄に属性を記入してもらい、新宿区外や不明分の集計は結果数に反映させませんでした。

6. アンケート結果の取り扱い

別紙アンケートの集計結果を参考に、それぞれの選定委員が加点を行いました。アンケート結果が直接加点されるわけではなく、その結果を加味して総合的に選定委員が加点を行います。

7. 住民からの意見

アンケートの感想及び集計結果をホームページ上に記載した。(別紙5)

各事業者への意見については、選定委員会において評価の際の参考としました。また、公開プレゼンテーション全体についての意見については、翌年以降開催したプレゼンテーションにおける参考としました。

8. 区民公開プレゼンテーションを実施してよかった点

- (1) 区民の民間委託への懸念が軽減されたこと。
- (2) 公開プレゼンテーションの実施が住民から評価を受けたこと。
- (3) 区民が事業者の選定に関わることができ住民参加が促進されたこと。
- (4) 区民がどういった行政サービスを重視するかについて、行政側の理解が進んだこと。
- (5) 民間事業者の様々な事業提案に納得される方も多く、民間の活力が活かされたこと。
- (6) 事業者同士が競争することでサービスの質の向上が図れたこと。

9. 今後の課題

- (1) 民間活力の導入が各自治体でとりにいれられてきているため、受託事業者も事業提案のやり方が上手くなってきている場合もあり、運営内容等現場の実態が伴っていないケースもありえます。
- 今後は、事業者の事業提案後に、実際にその事業者がサービスを提供している現場を選定委員が視察し、実際のサービス内容と事業提案の間に差がないか確認することを予定しています。
- (2) 単なる金額のみで争わず、事業内容に基づき事業者を選択するプロポーザル方式を実施する中で、現在は学童クラブ利用父母の代表者も選定委員になってもらっており、住民参加型の事業者選定としてはさらに進んだ形になっています。しかし、利用者の選択により望まれた事業者が必ずしも良い受託事業者とは保障できません。行政の業務を代行する事業者を選択する際、当然のことながら行政責任が課せられます。利用者本位といっても、民意は流動的な要素も含んでおり、きちんとした選択ができなかった際の責務のあり方など、考えるべき点は多くあります。

10. 総括

官と民が競合することや、民間事業者が競合することで、相互に研鑽しあい、利用者に対してより良いサービスが提供されていくことは望ましいことではあると思います。他方において、利用者のニーズに合わせるがあまり、無理な体勢を実施主体が負い、財政面での過剰な負担になったり、児童厚生観点から外れるような事態も起こりえます。

住民参加による自治は大切ですが、行政としてそれをどのようにリードしていったらよいのか。住民に理解をしてもらいながら、うまく舵取りをしていくことが、われわれに課せられた課題であると考えます。

公開プレゼンテーションのご案内

平成 16 年 4 月から児童指導業務の委託をおこなう「(仮称)西新宿こども館・(仮称)早稲田南町こども館・(仮称)榎町児童センター」について、応募事業者による「公開プレゼンテーション」を実施します。

なお、当日、参加した区民のみなさまにアンケートのご協力いただき、事業者選定の参考とさせていただきます。

ただし、審査の公平性を図るため、当日、事業者への質問はできませんので、あらかじめご了承ください。

広く区民のみなさまの参加をお待ちしております。

〔日 時〕 10月19日(日)

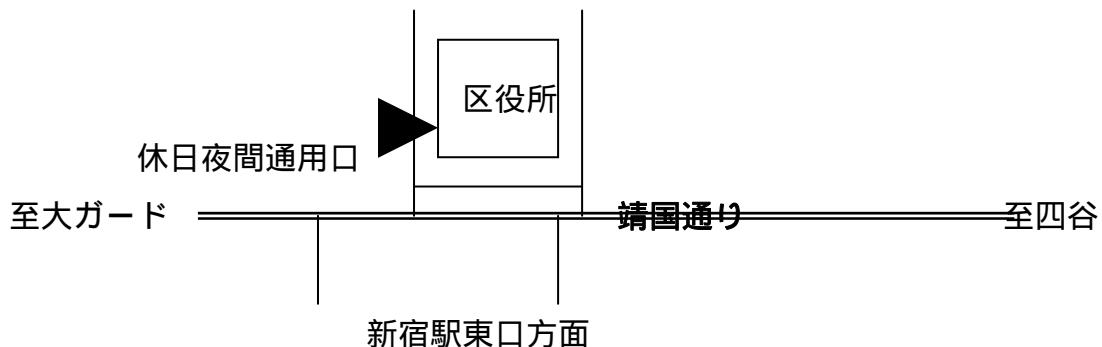
〔第1回(仮称)西新宿こども館プレゼンテーション〕

午後1時から2時15分まで(開場 午後0時45分から)

〔第2回(仮称)早稲田南町こども館・(仮称)榎町児童センタープレゼンテーション〕

午後2時45分から4時10分まで(開場 午後2時30分から)

〔会 場〕 区役所分庁舎4階41会議室(会場へは区役所通り反対側の区役所休日夜間通用口からお入りください。)



〔問い合わせ〕福祉部児童家庭課子育て支援係 電話5273-4544

(仮称) 西新宿こども館

会社概要

当社は平成3年4月、「ケアと教育を通じてのお客様の自己実現サポート」と「女性の就労支援」を企業理念に掲げ、幼児の家庭教師事業を開始しました。その後、ベビーシッターや病院内保育ルーム、トータルケアなど事業範囲を順次拡大。近年は、とりわけ行政サポート事業に力を注ぎ、「こども館に関わるすべての人の自己実現の支援」を目指し、全社を上げて鋭意取り組んでいるところです。

実績

当社の自負は、創業当初の12年前から時代の流れに先駆けて、児童館や学童クラブの行政事業の受託に向けて研究を重ねてきた点にあります。その先見性が、一部行政事業の民間企業への門戸開放の動きとともに契り、現在24ヶ所の委託運営という実績に結びつきました。

(1) 行政における実績例

豊浦安市高洲小学校地区児童育成クラブ

【民間企業による全国初の学童クラブの委託運営・分室も運営中】

豊文京区立根津保育園【高齢者・障害者住宅と同一敷地内】

豊世田谷区砧南中学校内併設型砧南らる保育園

【中学校の空き教室を利用した世田谷区初の東京都認証保育所】

豊朝霞市放課後児童クラブ 【児童指導員派遣】

豊埼玉県横瀬町児童館 【児童厚生員派遣】

豊葛飾区公立保育園 【保育士派遣】

豊三鷹市公立保育園【タクシー送迎・緊急一時保育士派遣】

豊千代田区産後支援サービス 【ヘルパー派遣】

豊台東区男女平等推進プラザ 【こども室の委託運営】

豊浦安市子ども家庭支援センター 【保育士派遣】

豊浦安市ひとり親家庭支援サービス【ヘルパー派遣】

(2) その他法人実績多数

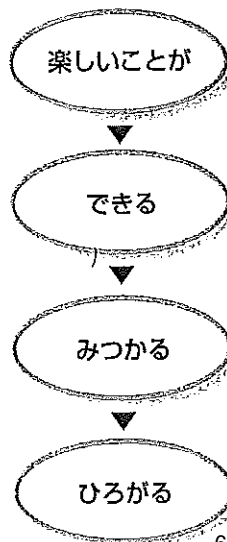
1. 基本理念

こども館の存在目的は、来館を強制するのではなく自主性を尊重することによって子どもが楽しみながら「生きる力」を育むことにあります。

基本方針

- ①子どもの自主性を尊重し、高められる指導・場作り。
- ②子どもの社会性を育てる指導・場作り。
- ③地域に根ざし開かれた指導・場作り。

*目指すものは、「遊びの情報発信基地」と同時に、遊びのマナーや交通ルールなど「遊びのリーダー」的存在。



2. 児童指導業務の内容、及び方法

(1) 乳幼児に対する基本方針

- ①両親へのアプローチを通じ、子どもの自主性を育てます。
- ②親同士、子供同士の交流を通じて社会性を育てます。
- ③地域ぐるみで子どもを見守り育てる工夫をします。
- ④乳幼児に対する具体的業務内容

- 乳児タイム・幼児タイム
- 子ども家庭相談
- リトミック
- ママのエンジョイタイム
- みんなでおめでとう会
- 英語でGO! その他多数

(2) 小学生に対する基本方針

- ①指導員の指導のもと、徐々に自主性を育む工夫をします。
- ②同世代の遊びや協同活動を通じ、社会性を育てます。
- ③地域との連携を深めることで、地域への愛着を育てます。

- 工作教室
- ニュースポーツ
- ミニ映画祭
- カードゲーム大会
- 草笛作り
- 大集団遊び その他多数

(3) 学童クラブ

指導の特徴

子どもたちにとって「放課後の生活拠点として、安心してくつろげる場」と同時に、自立性と社会性を育む「地域のサロン」を目指します。

- ①カフェテリア方式の導入
- ②学習補助
- ③親子のふれ愛会
- ④児童館来館児童との遊び

障害児の受け入れ

障害児も健常児と一緒に様々な行事への参加することを通じ、「障害は個性」という広い視野の子どもに育つよう指導します。

(4) 特別に配慮が必要な児童

障害児・不登校児・いじめを受けている児童が、「楽しかったからまた来たい」と感じられるようにサポートします。

(5) 年間行事予定

- ①パパにありがとう
- ②近隣児童館対抗スポーツ
- ③サマーキャンプ
- ④りょーり?の鉄人
- ⑤子ども縁日
- ⑥街の名探偵 その他多数

(6) 地域・家庭との連携

1. 家庭との連携
 - 緊急連絡先の把握
 - 「こども館だより」発行
2. 地域との連携
 - 西新宿小学校と旧淀橋第二中学校の校庭、体育館使用

(7) 運営協議会

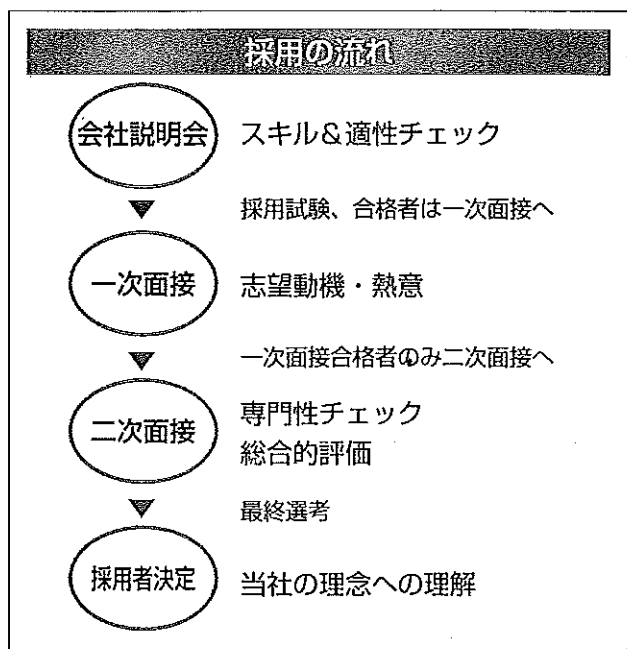
R P D C (リサーチ・プラン・ドゥー・チェック) の考え方にに基づき、利用児童の保護者や地域住民、町会役員等が参加する運営協議会を開催します。

3. 業務に従事する職員

(1) 採用方法

こども館の質を決めるのは、「人」です。当社はこの考えに基づき、採用を重視して最も力を注いでいます。

そのために、長年のノウハウを結集して「募集・面接・採用マニュアル」を整備。これに基づいて、基本的スキルはもとより専門性や適性をチェック。さらに志望動機や当社の理念や仕事に対する理解・熱意もチェックするなど、質の高い指導員が確保できる仕組みを作り上げています。



(2) 資格に対する考え方

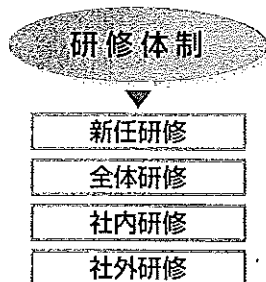
児童福祉施設最低基準第38条に規定される資格はもちろん、スポーツ、文芸、音楽、障害児対応など様々な分野をカバーする専門的資格を持った人材確保を目指します。

(3) 経験に対する考え方

児童福祉施設での勤務経験を10年程度有する者をリーダーに据え、同5年程度の経験者をサブリーダーにします。

(4) 研修体制

採用時の「新任研修」はもとより、採用後も「全体研修」を始め充実した当社独自の研修カリキュラムを組み、職員全体のスキルアップと意識向上に努めます。



(5) 人員配置

館長及び区の職員と常に連携して児童指導業務を推進するリーダーを中心に配置し、サブリーダーも設けます。

- ①通常期/午前中3名、学校終了時間帯6名
- ②土日祝日/2~4名 ③長期休み/2~5名

4. 衛生管理

児童の手が届く範囲すべてにおいて衛生管理を徹底し、清潔で安全なこども館の実現を目指します。

- ①館内の設備類や調理室などを清潔に保つのはもちろん、館の周辺の掃除なども行います。
- ②必要な医薬品等を整備します。
- ③指導員は自ら手洗いなど衛生管理を実行するだけでなく、児童に対する指導も行います。

5. 事故防止・安全対策

(1) 事故防止・安全管理に対する考え方

こども館は、子どもの遊び場であり、様々な子どもが遊びにやってくるので、どうしても事故やケガなどが発生することが予想されます。

こうした事態をできるだけ防ぐ目的で、当社は独自の「安全管理マニュアル」を構築しています。その柱となっているのは、事故やケガを未然に防ぐ「事故防止対策」、事故が起きた場合の応急措置や緊急連絡等の「事故対応策」、事故後の「原因究明対策」、及び同じ事故を繰り返さないための「再発防止対策」です。

このようなマニュアルに基づいた「安全管理」に対する意識を職員全体に徹底させることによって、福祉サービスの質の向上に努めます。

(2) 施設巡回

施設内の日常的「安全管理対策」として、施設巡回を実施します。各部屋・施設で指導業務に当たっている指導員とは別に、各フロアを見回る巡回指導員を設けることで、「児童の指導業務と安全管理」という役割を持たせます。

(3) 災害対策

地震や火災、台風などの災害対策で重要なのは、常日ごろからの意識付けです。当社は、以下のような防災体制を組み、万一のときにも慌てずに対応できるようにします。

- ①防災マニュアル構築 ②災害に備えた組織作り
- ③緊急連絡体制 ④年間防災訓練計画

(4) 防犯対策

近年、児童殺傷事件や誘拐事件など凶悪事件が頻発しているだけに防犯対策も重要です。指導員だけでなく児童を対象とした防犯体制を練り上げ、万一のときに備えます。

- ①日常的な防犯指導・体制作り
- ②防犯訓練<児童、及び指導員対象の訓練実施>
- ③犯罪発生時の役割分担

(5) 交通安全対策

こども館は、地域に密着した「遊びの情報発信基地」としての役割を果たすため、「街」で遊ぶための基本的ルールを学ぶ場でもあります。特に交通安全対策に力を注ぎ、交通ルールを守る重要性を指導します。

(6) 職員会議

毎月1回、日常業務に関わる職員会議に加え、防犯・防災・交通安全等をテーマとした専門会議を年6回行います。

6. 準備委託に対する考え方

- ①理想的な引継ぎを行うことでサービスの質を維持します。
- ②「改善改良」をキーワードに、マニュアルを構築します。
- ③入念な研修・準備を行い、円滑な引継ぎを目指します。

本日は、お忙しい中、公開プレゼンテーションにご参加いただき有難うございます。

今回のプレゼンテーションでは、参加された皆様のご感想を参考にさせて頂きたく、アンケートを実施します。よろしければご記入願います。

平成15年10月19日

新宿区福祉部児童家庭課

公開プレゼンテーション参加者アンケート

- 1 どちらの地域にお住いですか。(をつけてください。)
新宿区内(西新宿地区 早稲田・榎町地区 その他) 新宿区外
- 2 今回のプレゼンテーション参加した動機はなんですか。
()
- 3 評価できると思えたものに、 をつけてください。いくつでも結構です。

(仮称)西新宿こども館			
法人記号番号	N社	W社	C社
実績経験が豊富である			
熱意・誠意が感じられる。			
安心して利用できそうである。			
地域をしっかりとらえている。			
事業内容が魅力的である。			

- 4 その他ご意見・要望がありましたらお書きください。

書き切れない場合は、裏面をご利用ください。

ご協力ありがとうございました。お帰りの際、係員にお渡ししてください。

平成15年10月19日(日) 公開プレゼンテーション参加者アンケート結果

アンケート結果	(仮称)西新宿 こども館			(仮称)早稲田南町こども館 (仮称)榎町児童センター			アンケート回収 お住まい	(仮称)西新宿こども館	(仮称)早稲田南町こども館 (仮称)榎町児童センター
	N社	W社	C社	S社	N社	W社			
実績経験が豊富である	8	6	0	10	6	6	区内 西新宿地区 榎町・早稲田地区 その他	3	1
熱意・誠意が感じられる。	2	13	1	7	6	15		4	15
安心して利用できそうである。	5	6	4	6	3	6		9	5
地域をしっかりとらえている。	3	8	1	5	0	5	計	16	21
事業内容が魅力的である。	7	2	2	5	5	4	区外不明	5	4

10月22日確定結果

|上記のアンケート結果は、参加区民の評価結果です。区外・不明分の集計は入っていません。

福祉部児童家庭課

公開プレゼンテーション参加者意見・要望

1 プレゼンテーション全体に関すること。

- ・民間委託業者の導入によって、様々な取り組みがなされていくものとする。当初だけでなく、将来にわたって、その企画や運営が、誠実に誠意を持って続けられていくことを望む。
- ・説明を聞くだけでは分からないことがあった。質問をさせてほしかった。
- ・時間が短かった。
- ・民間の考え方が入るのは、とても良いことだと思う。いろんな場所で、いろんなやりかた、または競争心があったほうが質を高められる。利用者も選定のバリエーションがふえていい。ただ、事件、事故等おこらないよう、自治体の指導も必要だと思う。
- ・民間によるプレゼンの比較として、今現在の職員による現状のプレゼンも聞きたかった。
- ・やってみないと本質はわからない。問題は、この中から選定された業者を誰がどのような基準をもって評価し、また、問題がある場合、どのような手続きですみやかに業者を変更することができるのかである。簡単に換えられないことに鑑みれば、簡単につぶれることのない業者で選定することが、現状では better ではないか。子どもを預けている親の立場としては、できるだけ経験豊富で安心できる業者を選定していただきたい。ちなみに民間企業でも、OKだと考える。
- ・こうした公開の機会を設けたことはよかった。区民にとっても考えるきっかけになった。

2 提案内容一般

- ・学童クラブサービスの拡大(時間延長)について、ふれてほしかった。
- ・区の職員とどう連携していくのか、ふれてほしかった。
- ・コスト削減のための対応策が見えない。人件費削減 指導員の質の低下ではないか
- ・障害児に昼間つける人員はいるのか
- ・学童クラブの父母会を認め、対応してほしい。
- ・職員の研修として、学童保育関係の研修に参加してほしい。
- ・プレゼンテーションは、手慣れたもので、同じような感じがした。すでにマニュアルができていようなので、特に感想はない。レクリエーションの楽しみだけでなく、子供の心の奥まで考えて、サポートする会社をお願いしたい。
- ・学童クラブ運営にあたっては、父母会との対話、連携を大事にしてほしい。近隣小学校との連絡など、重視してほしい。
- ・応募してきた業者の水準が低い。
- ・行事は、どこでもやっているものが多い。
- ・自主事業とのコミュニケーションはどのようにやっていくのか
- ・どこが採用されることになっても、第三者評価を重視してほしい。
- ・大きいスクリーンを用意してほしかった。
- ・区民と一緒に、地域でコミュニケーションがとれる民間の協力があれば。子どもにとって、楽しいスペースが一番

(1) N社について

- ・実績も豊富で手広く手がけ、ノウハウも充分。至れり尽くせり 最初にビジネスありきなのだが、それ自体悪いことではない。この活力を新宿区に取り入れるべき
- ・企業色が強い
- ・保護者として、学童クラブでの教育は望んでいない。

- ・ 人員配置の説明が不十分
- ・ 子どもに対する愛情が感じ取りにくい。
- ・ 民間サービス業社という自覚を全面に打ち出して、全体的にビジネスライクな印象。幼稚園、保育園などの運営と学童クラブは異なることに理解はあるのか？
- ・ 大手ビジネスということで、効率的な反面、内容が画一的になるのでは。派遣会社のようにスタッフ欠員の補充等は、スムーズだろうが、入替えが激しいのでは。浦安のような、新しい町ならいいが。地域性がどのくらいだせるか
- ・ 「子どものビジネス」という言葉に驚いた。地域に根ざした発言がない、どういうところを選ぶかで、行政の子育て支援の姿勢も問われる。

(2) W社について

- ・ 具体的な提案で身近に感じることができた。
- ・ 学童保育の歴史などもふまえて、公が民間に委託するのであれば、こうあるべきという理念が、語られていてよくわかった。宿題の指導なども、家庭で親子のふれあいの時間を大切にするためにやるという目的がはっきりしていて良かった。
- ・ 時間的なことの説明が不十分
- ・ 地域に密着したところで、成長してきた手作り感のある団体。信頼できそうだが、素朴、粗削りといった感は免れない。実際の現場を見てみたい。
- ・ NPOなので、共同組的発想。「有料ボランティア」のような印象。まじめだが地味。
- ・ 活動の中心が、板橋、足立等なので、少し離れているという印象。地域とのふれあい重視というのはいい。スタッフが急病などの時の対応は、スムーズか心配が残る。
- ・ NPO、行政運営に近い感じで安心。規模が、小さそうで不安。素人っぽい
- ・ 手作りの感じがする。
- ・ 企業ではなく、協同組合ということなので、運営委員会等の話し合いなど積極的な参加が、親の方でも望めそうで、期待できる
- ・ 組織が小さい分、まだ改善しつつ進めていこうという意識が感じられる。
- ・ 西新宿の方も含めて、それぞれの館の特徴をつかんだプレゼンだった。子どもを中心に考えているのが良くわかった。〔納得できるまでの、話し合いの重視〕は、行政でさえ欠けがちなこと。これが、本当に貫かれたら良いと思う。委託にあたっての、保護者の不安についても、理解されている様子がうかがえた。協同組合らしい理念が良い印象だった。安心感がある。

(3) C社

- ・ 学童クラブ経験がない。
- ・ 内容がやや具体的に欠けるように感じた。
- ・ ビジネスライクな、きれいごとの説明に聞こえた。実績もないようだ。
- ・ 保育園での実績が主のようで、プレゼンの内容も子供の管理という側面が強く、理念に終止している。

(4) S社

- ・ レクリエーション事業が元になっている。(小学生高学年～社会人)誠意が感じられ区内に拠点もある
- ・ 拠点新宿なのは安心。公募で地域の人を雇うのはいい。職員配置が具体的にされなかった。
- ・ 36年実績。拠点が区内。地元。現在の行事をベース。区との連携についても、説明された。
- ・ 職員体制の具体的な数がわからない。人を増やすと言っているが、経営的に大丈夫か 気がいたらボランティアばかりでは、レクリエーションのデモンストレーションは不用
- ・ 具体的説明がない。児童館は、遊びだけではないので、実績不足と感じる。